

令和3年度 沖縄型産業中核人材育成事業
＜安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム＞
【募集要項】

1. 研修概要

(1) 研修目的

本研修の目的は、観光衛生マネジメントの必要性（コロナショックを受けて安全・安心価値が最上位になったこと）、沖縄型ウェルネスツーリズム普及の必要性（ウェルネス産業市場の拡大が世界の潮流であること）を踏まえた安全・安心なウェルネスツーリズムを創出できる人材の育成です。期待する効果は、当面続くことが予想されるウィズコロナの渦中および再来が避けられない新興感染症と共存するニューノーマルな観光の時代において、国内において競争力を発揮できる人材が育成されることです。

沖縄型ウェルネスツーリズムは、プレーヤーとされる観光関連事業者のみでなく、島嶼地域に根差し資源の活用と保全に熟知した地域（資源・人・コミュニティ）と直接結びつきます。地域が協働で、地域資源を「ウェルネス資源」という新しい価値として生み出していくことで、提供サービスの付加価値が高まり、生産性が向上します。また、地域の1次、2次産業企業とのアライアンスにより収益の県外移転を抑制する課題解決にも通じます。

▶ 目指すべき人材像に求められる知識・技能 （※別紙のカリキュラム（予定）もご参照下さい）

- ・観光衛生マネジメントに関する知識
- ・観光衛生マネジメントの具体的な手法および現場への適用に関する技能
- ・沖縄および地域の観光の現状と課題の捉え方に関する知識・技能
- ・観光の現状と課題を踏まえ、現実的かつ有効な観光資源の活用方法を見出す技能
- ・ウェルネスとSDGs（持続可能開発目標）の関係性に関する知識
- ・地域の観光資源をウェルネス資源として捉え、SDGsの達成に寄与するウェルネスツーリズムを創出できる技能

(2) 研修期間等

本講座では、座学とフィールドワークを実施予定です（全体説明+全15回、計7日間）

※新型コロナ対策の為、原則Zoomを使ったオンライン会議（録画補講あり）

※グループワークの開催形式については、現在検討中（録画補講は未定）

- 1日目： 10月22日（金）13：00～16：00／全体説明・第1回
2日目： 11月5日（金）9：00～17：00／第2回～4回
3日目： 11月12日（金）9：00～17：00／第5回～7回
4日目： 11月19日（金）9：00～17：00／第8回～10回
5日目： 12月3日（金）9：00～17：00／第11回～13回
6日目： 12月6日（月）13：00～17：00／第14回
7日目： 12月14日（火）13：00～17：00／第15回

注1) 感染症拡大抑制の観点、講師や視察先の都合等により日程が変わる可能性があります。

注2) 1回の講座は1～2時間程度で構成され、毎回の講座でその内容の理解度を評価する試験を行います。

注3) 第1-2回、第5-6回、第8-9回、第11-12回の座学研修は基本的に琉球大学文系講義棟にて行います。

注4) 第4、7、10、13回には、フィールドワークを行います。

注5) 第14-15回にはグループワークによる課題作成と発表を行い、審査員による採点が行われます。

(3) 参加費用は無料

注) 離島から参加される方の往復航空運賃と宿泊費は実費支給いたします。

2. 実施主体

内閣府沖縄型産業中核人材育成事業の委託を受けた「沖縄型産業中核人材育成事業沖縄県環境科学センター・南城市観光協会共同体」が実施します。

3. 募集内容

(1) 育成の対象者および参加要件

本プロジェクトの育成対象者は本研修の全日程に出席可能^{注1)}であり、以下に示す参加要件①～②のいずれか、かつ③を満たす者とします。

- ①観光協会をはじめとする地域の公共性の高い観光系団体に従事している者。
- ②上記以外の受講希望者の場合には「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーター育成実行委員会」が研修への参加意欲があり、受講生にふさわしいと個別に判断した者。
- ③占有的に使用できるノート型パソコンやタブレット端末があり、インターネットとMicrosoft Word、Excel、Power Pointの操作が十分にできる者。

注1) 感染症拡大抑制の観点から、原則オンライン会議を予定しています(録画補講あり)。

注2) グループワークの開催形式については、現在検討中です(録画補講は未定)。

(2) 募集定員

35名程度

(3) 応募書類

- ・参加申込書
- ・参加要件②を満たすことを示すための補足として、所属機関からの推薦書を提出してもよい。

(4) 応募方法

(3)の応募書類(参加申込書)に必要な事項を記入の上、下記宛先に郵送又はEメールで提出してください。

<宛先>

〒901-2111 沖縄県浦添市経塚720

一般財団法人 沖縄県環境科学センター 沖縄型産業中核人材育成事業担当 宛

メールアドレス：wellness@okikanka.or.jp (沖縄型産業中核人材育成事業担当 宛)

(5) 募集期間

令和3年10月4日(月)まで(必着)

4. 受講者の決定

- ・受講者は、希望者の職務経歴や志望動機を考慮のうえ、本事業の実行委員会が決定します。
- ・受講者の決定については、個別に通知します(令和3年10月13日(水)予定)。

注) 申込書類等の記載内容に事実と異なること等があると判明した場合は、通知後であっても受講を取消すことがあります。

5. お問い合わせ

参加申込書の提出：wellness@okikanka.or.jp まで送信ください。

「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム」事務局
(一般財団法人沖縄県環境科学センター内)

TEL：098-875-5208

※問い合わせの際、「ウェルネスツーリズム」の件で問い合わせいただいた旨お伝えください。

担当：アカミネ、トウマ

研修カリキュラム（予定）

注）カリキュラムは現在作成中のため、一部変更となる可能性があります。

■事務局による講座の全体説明／第1回 ウェルネスツーリズム概論

10月22日(金) 13:00～16:00

▶講師：国立大学法人琉球大学 国際地域創造学部 観光科学研究科 教授 荒川様

最も成長著しい観光形態であるウェルネスツーリズムについて、最新の定義、対象領域、国内外の先進事例について学び、世界的動向を把握する視点を養う。

■第2-4回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策

11月5日(金) 9:00～17:00

第2回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策（1）／座学

▶講師：兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 准教授 高橋様

コロナ禍であらゆるツーリズムに安全・安心衛生対策が必須かつ最上位課題となっている。本講では「観光衛生マネジメント」の理論と実際を学ぶ。

第3回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策（2）／座学

▶講師：（一財）沖縄県環境科学センター微生物課 徳松

ツーリズムにおける安全・安心衛生対策には様々な現場に即した体制整備、管理運営、検査手法がある。講ではその主要な事例から学ぶ。

第4回 安全・安心・衛生対策／フィールドワーク（那覇市）

▶講師：（一財）沖縄県環境科学センター微生物課 徳松

観光先進地と呼ばれる沖縄が実際にどのような安全・安心衛生対策の現状にあるか、点検ポイントを踏まえて現地視察から学ぶ。

■第5-7回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生

11月12日(金) 9:00～17:00

第5回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生（1）／座学

▶講師：（株）ラグーン 池野様

内なる環境（健康）と外部環境、自然との共生を図るウェルネスツーリズムの理解促進のために、本講ではサステナブル（持続可能）をテーマにした国内外の事例から学ぶ。

第6回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生（2）／座学

▶講師：恩納村農業環境コーディネーター 桐野様

自然環境を「ウェルネス資源」としてどのように活かせるか、本講では健康癒し・気づきのウェルネスメニュー開発事業者の事例に学ぶ。

第7回 持続可能な自然・環境共生／フィールドワーク（恩納村）

▶講師：（株）ラグーン 池野様／恩納村農業環境コーディネーター 桐野様

自然環境の保全と観光利用の両立を実践する事業者への現地視察・ヒアリングおよび体験実習から、沖縄の持続可能な観光のあり方を学ぶ。

■第8-10回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化

11月19日(金) 9:00~17:00

第8回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化 (1) / 座学

▶講師：イーストホームタウン沖縄(株) 相澤様

地域の歴史、文化、ライフスタイルをウェルネス資源として新しい価値を生み出し、体験メニューに活かす事例を事業者の視点から学ぶ。

第9回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化 (2) / 座学

▶講師：(株)南都 高橋様

地域住民の真正で生き活きとした暮らしがウェルネスまちづくりに繋がり、誘客に成功する国内外の事例を観光地経営の視点から学ぶ。

第10回 持続可能な地域・社会・歴史文化 / フィールドワーク (南城市)

▶講師：イーストホームタウン沖縄(株) 相澤様 / (株)南都 高橋様

県内市町村の一地域を対象に、観光に関わる行政、住民、関係団体等、ステークホルダーの関係性を整理、課題点を抽出する技能を養うため、現地視察・ヒアリングを行う。

■第11-13回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル

12月3日(金) 9:00~17:00

第11回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル (1)

▶講師：(一社)トータルウェルネスプロジェクトオキナワ 伊是名様

ウィズコロナ / アフターコロナで危機にあえぐ飲食業にウェルネスはどう生かせるか、持続可能な飲食ビジネスのあり方について学ぶ。

第12回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル (2)

▶講師：(株)星野リゾート沖縄読谷事業所 総支配人 澤田様

ウィズコロナ / アフターコロナで危機にあえぐ宿泊業にウェルネスはどう生かせるか、持続可能な宿泊業のあり方について学ぶ。

第13回 持続可能な経済・ビジネスモデルフィールドワーク (北中城村)

▶講師：EM ウェルネス 暮らしの発酵ライフスタイルリゾート 西渕様・前川様

ウェルネスをビジネスチャンスと捉え、ウェルネスメニュー開発に着手する観光産業プレーヤーへの現地視察・ヒアリングを行う (宿泊業)。

■第14回 持続可能なウェルネスツーリズム事業企画提案グループワーク I

12月6日(月) 13:00~17:00

▶講師：国立大学法人琉球大学 荒川様 / イーストホームタウン沖縄(株) 相澤様 / 事務局

持続可能なウェルネスツーリズム事業プラン制作の課題に、参加者は少人数のグループに分かれ、座学、フィールドワークで学んだ知識を生かした事業提案を制作する。

■第15回 持続可能なウェルネスツーリズム事業企画提案グループワーク II

12月14日(火) 13:00~17:00

▶講師：国立大学法人琉球大学 荒川様 / イーストホームタウン沖縄(株) 相澤様 / 事務局

持続可能なウェルネスツーリズム事業プランの企画提案を発表、識者らの採点ポイント、講評をもとに総括を行う。